



水のひびき

地域・施設の防災訓練に参加協力!!



北大塚防災会防災訓練

坂戸市内には自主防災組織が89団体組織されています。

東日本大震災を契機に地域防災の重要性が高まり、自主防災組織が8団体増加しました。自主防災組織は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織で、災害による被害を予防し、軽減するための活動、防災訓練を計画実施しています。

自主防災組織の防災訓練には消防団も参加協力し、初期消火訓練や、救出・搬送訓練、応急救護訓練等を通じ、もしもの場合に、迅速かつ的確に対応できるよう、連携強化を図っています。



シャローム・ガーデン坂戸総合防災訓練



堀込区自主防災会防災訓練



島田地区防災会防災訓練



下石井防災会防災訓練



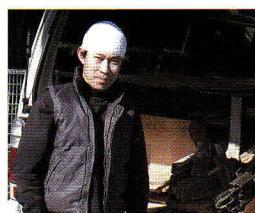
勝呂分団第1部の車両更新に併せ、老朽化した詰め所の改修工事が行われました。綺麗に塗り直された詰所の《顔》とも呼ぶべきシャッターには、地元、勝呂小学校の六年生、香取彩花さん、柴田七彩さん、菅井琴恵さんがデザインした絵が描かれました。三人はお互いに考えたデザインを持

勝呂分団第1部詰所改修

ち寄り、校長先生のアドバイスを受け休み時間を使い何度もデザイン構成を話し合い原画を完成させました。シャッターの中心には少年が乗った大きく頼りがいのある象が、防火服を身にまとい鼻から水を噴き上げています。その先には笑顔の猫が水と戯れています。象は地域に安心感をあたえてくれる消防団員を、猫は有事にもあわてない余裕ある気持ちを。そんなメッセージを含めてデザインしてくれました。



もともと消防団に興味があつて、消防団OBと話す機会があつたのがきっかけだそうです。職人という仕事柄、現場が坂戸から遠くなるのがしばしばあり、緊急時に駆けつけるのが遅くなるのが、仕事と消防団との両立で難しいところだそうです。入団する前までは、火災が発生してもただ見ている側でしたが、



比志 武 さん (建築業)

比志さんは、長年育み培ってきた熟達した技術をもって私たちの住まいを作ってくれる大工さんです。入団したのは、

入団後は消火活動に携われ、人命、財産を守ることにやりがいを感じると答えてくれました。入団をきっかけに、近くに住みながら普段なかなか関わりあえない地元との交流、そして、職業、商売を抜きにした先輩、友人ができたことがよかつたことだそうです。消防団に入団して、節度、規律が思った以上に重要で厳しいと実感しているのですが、これからもっと、地元貢献ができるよう消防技術を身に付けていきたいと熱心に話される姿を見て、優しさの中に熱い職人魂を感じました。

入団したの、消防団に入団して、節度、規律が思った以上に重要で厳しいと実感しているのですが、これからもっと、地元貢献ができるよう消防技術を身に付けていきたいと熱心に話される姿を見て、優しさの中に熱い職人魂を感じました。



★
坂戸を守る消防団の紹介
入西分団第一部

入西分団第一部（以下、入西一部）は、入西地区の中心地、入西小学校に隣接する土地に詰所をかまえ、入西地区の安全・安心を守る拠点のひとつになっています。

取材を行った定例活動（各都月に数回ある集まり）の日は、平日の夜。皆仕事を終えてから集まり、夜警、詰所の清掃、会議などをこなす。もちろん翌日には仕事を控えています。集まるだけでも大変かと思いきや、「あたり前のこと」と胸を張る。

部内の雰囲気が大変良く、その理由を尋ねると若手団員から「遠慮なくものが言えるから」と即座に返答が来ました。団員それぞれが部の運営を考え、意見交換を活発に行い、納得のもとに行動する。このひとりひとりの責任感の強さと結束力の強さが、入西一部の一番の特長だと感じました。それが顕著に表れているのが、操法大会（二年に一度開催されるポンプ



未来の消防団員？（堀込自主防災訓練）



夜警出動前の車両点検

車の基本操作技能を競う大会の訓練です。みずから操法バカを名乗る入西一部は、常に優勝を目標に掲げどこよりも多く、どこよりも厳しく練習をしていると聞きます。その結果が、ここ五大会で三度の優勝と言う結果に表れています。迅速かつ正確なポンプ車の操作は、火災現場でもその成果を発揮しています。

地域では、自主防災組織と連携しての防災訓練は恒例行事で、年々その訓練内容も実践的になっています。また、消防団OBの皆様は、そんな真摯に活動する団員をねぎらい、日頃より何かとご支援をくださり、さらには歳末特別警戒（十二月二十八日～三十日に実施）には、食事を差し入れてくださるそうで、地域・OBの皆様と何とも羨ましい関係を築いています。

牛久保部長は「十三人（各部の定数）が（行事や定例で全員）そろつことがない」ことが悩みだつてつづやきます。入西一部はどこまでも高い理想の下、活動を続けています。

春季全国火災予防運動の実施

三月一日～七日まで春季全国火災予防運動が実施されます。火災予防運動は火災予防思想の普及を図り、火災の発生を防止することを目的としています。

坂戸市消防団では、春季全国火災予防運動のほか、秋季全国火災予防運動（十一月九日～十五日）、歳末特別警戒（十二月二十八日～三十日）に消防車両での巡回広報や、駅の改札口前にての広報活動を行い市民のみならずさまに広く注意喚起を行っております。



一人暮らし高齢者宅及び寝たきり高齢者宅訪問防火指導

火災が発生しやすい季節を迎えるにあたり、消防署と消防団で協力し訪問防火指導を実施しました。

この指導は、一人暮らし高齢者宅及び寝たきり高齢者宅を訪問して、防火対策等について指導を行い防火意識の向上を図ることを目的とします。

当日は、数多くの高齢者の方と面会ができ、日常の火気・暖房器具等の使用方法の指導を行いました。ごなたも非常に防火意識が高く、日ごろから火の元、火の取り扱い等に気を付けていると感じました。



おとうさんといっしょ!

入西分団第2部
 広沢 裕一部長
 一世くん
 友芽ちゃん



団本部
 石井 大吾本部長
 柊くん
 葉ちゃん



深めよう地域の絆 はじめよう消防団!!

坂戸市消防団ではふるさとの安全を守る消防団員を募集しています
 資格：坂戸市内在住・在勤の18歳～45歳未満の方
 お問い合わせ：消防本部庶務課
 (☎281-3118 内線234)

新入団員募集
坂戸市消防団



編集後記

関係各位のご理解・ご協力をいただき、広報誌「水のひびき」も発行より二年の月日がたち、第五号まで発行することができました。

今年度いっぱい、広報委員会立ち上げのメンバーはその任を退き、メンバーを一部入れ替え、今後新しい視点で「水のひびき」を継続・発行していきます。引き続きご愛読くださいますよう、よろしくお願いたします。